

やまだ ひろみち  
山田 裕道 (体育専門学群 3年)



こんにちは！筑波大学ダーツサークル（TDC）代表の山田です。我々TDCは筑波大学における『競技としてのダーツ』の普及と競技を通しての成長や生涯にわたる人間関係の構築という活動目的のもとダーツに取り組んでいます。1. メンバー同士での練習会や試合を通しての技術向上, 2. 外部のメジャー大会への出場やプロ資格受験, 3. 競技への向き合い方や試合に必要な精神力向上による人間力の向上という3本柱に則って日々の活動を行っています。我々はまだ正式なサークルではないのですが、大学公認のサークルとなれるように4月の初めころから本格的に活動を開始しました。SNSや掲示板による周知活動によって立ち上げ1ヶ月程で10人を超える参加者を募ることができました。当初の目標は9月までに10人の加入だったにもかかわらず、予想以上の反響に大変嬉しく思っています。今後の活動としては、引き続き新メンバーの勧誘・ダーツの体験会・説明会、他の大学のダーツサークルとの交流会・対外試合、ハウストーナメントや公式試合への出場を考えています。

## 我々が考えるダーツの魅力とは

### 1. 誰でも簡単に始められること

体格差、性差、年齢差、運動経験の有無など問わず老若男女誰でも簡単に始めることができます。ルールを覚えて努力さえすればすぐに技能を向上させることができるスポーツであると考えています。ダーツセットをそろえるにしても他の競技に比べて大変リーズナブル！（良いダーツをそろえるとしても1万円程度）



練習会の様子

### 2. 人間的に成長、特にメンタル面

ダーツはそれほど運動量を必要としませんがメンタル面が重要なスポーツです。練習をして技能が向上したとしても試合といった緊張する場面でも通りに実力を発揮するのは至難の業です。そうした場面で実力を発揮できるメンタルを獲得できれば今後の人生で役立つこと間違いなしですよ！（就活面接の場面、自分の専門競技における試合の場面、卒論のプレゼンテーション発表の場面など）

### 3. 人間関係の輪が広がる

ダーツの最大の魅力といっても過言ではないと思っていますが、ダーツという競技には人と人を繋げるという特性があるということです。私のダーツ経歴は1年3ヶ月程ですがこれまでに出会った人たちはみな良き友であり良きライバルとなりました。ダーツには対戦相手もしくは仲間が良いプレイをしたときに「ナイス○○！！」と掛け声をかけたり手をタッチすることでそのプレイを讃える文化があります。そうした面で身体的、精神的距離感が近く絆が深まりやすい競技であるといえます。また、当初人見知りだった私でも今ではコミュニケーション能力の向上を実感しており、交友関係が広まりました。この活動を通して筑波大学内にとどまらず学外においても人間関係を広げていくこと、そしてゆくゆくは生涯にわたって付き合い合える関係性を築き上げていくことができたら我々の活動の意義があったといえるのではないかと考えています。

## 学生にとってダーツ練習をしやすい環境を目指して

練習場所は天久保にあるダーツバー（オンラインダーツマシン3台完備）からの全面的協力をいただいております。ダーツを投げる環境が整っています。練習費用もかかってはしましますが、ダーツを行うための相場に比べると格安で場所や設備を提供いただいております。平日（月～金）の16時～19時（早く始めるのも可能）の時間帯にて行っています。また、体験練習会や説明会も随時行っているため、少しでも興味のある方はどしどし連絡お待ちしております。ともに筑波大学に競技としてのダーツの文化を普及、発信していきましょう！

Twitter : @TDC\_tkb